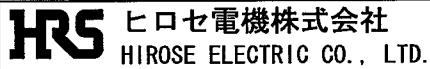


△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					△				
△					△				
適用規格									
定 格	使用温度範囲	-25℃～+85℃(注1)			保存温度範囲	-10℃～60℃(注2)			
	電 圧	AC 250 V			適合ソケット	HNC*-2.5S-*			
	電 流	AWG 22～24 : 3 A AWG 26 : 2 A			適合ケーブル	AWG 22～26			
性 能									
	項 目	試 験 方 法			規 格			QT	AT
構 造	外観、構造及び仕 上げ	目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。			○	○
	表 示	目視にて確認する。						○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	1 A (DC又は 1000 Hz)で測定する。			30 mΩ以下			○	—
	挿 抜 力	□0.635±0.002の鋼製ピンにて測定 すること。			差込力：4.4 N 以下 引抜力：0.4 N 以上			○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。			① 接触抵抗：30 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
	耐 振 性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mm、で 3 方向 各 2 時間試験する。			① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
環 境 的 性 能	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。			① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。			① 接触抵抗：30 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
	温度サイクル	温度 -25→5～35→+85→5～35℃ 時間 30→10～15→30→10～15 分 を 5 サイクル試験する。			破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5% の塩水、温度 35℃、48 時間 放置する。			はなはだしい腐食がないこと。			○	—
備考									
(注1) 通電による温度上昇を含む。					製 図	設 計	検 図	承 認	出 図
(注2) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保存は使用温度範囲を適用。									
試験規格の記載のない試験方法は JIS C 5402 を適用している。									
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目									
					製品規格表			製品名 HNC-2.5S-C-A (15)	
旧CL CL		図番 SLC4-007982-02			製品コード CL218-0021-5-15				1 1